

# 雲南市 Unnan City

市内にはヤマタノオロチの伝説で知られる斐伊川が流れ、各地に神話や伝説が残り、加茂岩倉遺跡などの多くの遺跡や古墳が発掘されています。こうした遺跡や神社、地名の由来は、「出雲國風土記」にたどることもできます。また、古くから斐伊川の支流の周辺の低地で農耕が営まれ、山間地ではたたら製鉄や炭焼が盛んに行われてきました。



## 遺跡のふるさと 加茂町観光スポット

**① 加茂岩倉遺跡**  
 1986年10月14日、農道の工事中に偶然発見されました。遺跡から出土した銅鑄は、一ヶ所の出土としては全国最多の39個で、2008年7月に国宝に指定されています。

**② 神原神社古墳**  
 1972年に発見された4世紀中頃の前期古墳です。この古墳から出土した「景初三年」の銘文をもつ「三角縁神鏡」は国の重要文化財に指定されており、群馬・台国の女王鳥居が鏡の柄杓から彫った銅鏡のうち1枚ではないかといわれています。

**③ 草枕**  
 斐伊川と赤川の合流点に近いところに位置する草枕山は、八塩折の酒を飲んだヤマタノオロチが苦しむに、枕にして眠った山であるといわれています。

**④ 八口神社**  
 草枕山を枕にうめき苦しむヤマタノオロチに向けスサノノミコトが矢を射られた場所と伝えられます。

**⑤ 尾留大明神旧社地**  
 スサノノミコトは、この地でオロチの尾を開いて「天蓋雲剣(あまのむらくもつるぎ)」を得られたと伝えられています。

